



おがさわら

議会だより

第 163 号



令和8年第2回定例会トピックス

- ・一般質問 (P3～5)
- ・さくら寮拡充へ、
南鳥島文献調査、請願審議 (P6)
- ・目指せ！US-2による航空路 (P7)
- ・小笠原小学校6年生議会見学 (P8)
- ・青森(六ヶ所村、むつ市)視察 (P11)

7月4日に母島で3代目ははじま丸の就航10周年と母島航路開設50周年式典、7月5日に父島で3代目おがさわら丸の就航10周年式典が執り行われました。

海はいつも穏やかだとは限りません。雨の日も時化の日も運航を支えてくれる方々がいます。

海に囲まれた私達の暮らしは、この船に関わる皆さんのお陰で成り立っています。本当にありがとうございます！これからもどうぞよろしくお願いいたします！

宮城ジャイアン

補正予算 618 万

父島火葬場下の斜面保護



父島火葬場の法面が波の浸食を受けています。これ以上浸食を進ませないようにするため、モルタル吹き付けで防護を行います。

監査委員の交代

渡部高久税理士が7月1日に就任しました。

令和6年7月まで芝税務署長を務められていました。



- ・埼玉在住
- ・趣味はサッカー観戦
- ・任期:令和8年7月1日～令和12年6月30日

燃料備蓄のローリングストック

補正予算 57 万

備蓄燃料のローリングストックが始まります。今回は奥村交流センターに備蓄している軽油ドラム缶10本が対象です。年3回の交換で備蓄軽油の品質が保たれるようになります。島内事業者様のご協力で実現しました。

ローリングストックとは

食品等の備蓄品を多めに購入、使った分を買い足して、常に新しい状態を保つこと。ご自宅でも取り組みましょう。



海洋センター改修工事

東京都の補助事業を活用して実施されます。既存の建物の改修を行い、展示スペースの強化とバリアフリー化、また、屋外のウミガメ飼育施設も全面刷新が行われます。工事期間中は閉館となりますが、令和9年4月にエコツーリズム普及啓発拠点として再開予定です。



エコツーリズム普及啓発拠点

報告第4号 ～9号	小笠原村村税条例の一部を改正する条例(専決処分)ほか6件	認定
議案第25号	令和8年度小笠原村一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第26号 ～27号	令和8年度小笠原村宅地造成事業特別会計補正予算(第1号) 令和8年度小笠原村介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	
議案第28号	財産の取得(災害備蓄品)について	
議案第29号	父島クリーンセンター改修工事請負契約の締結について	
議案第30号	道路新設及び宅地造成工事(静沢2期分譲地)請負契約の締結について	
議案第31号	小笠原エコツーリズム普及啓発拠点改修整備工事請負契約の締結について	
議案第32号	小笠原小中学校通路新設及び斜面对策工事請負契約の締結について	
同意第2号	小笠原村監査委員の選任について	
発議第2号	議員の派遣について	

学童保育の安全を守るには！ 島外医療受診時の宿泊支援は！



村長…学童の安全や施設整備
充実を図る。
村民課長…東京都へ受入れ環境
整備を要望

子どもを守り
医療リスクを
なくそう！



安藤 重行

問 本村の未来を担う子ども達の学童保育育成環境と住民が安心して島外医療を受けられる体制の整備は急務。

共働きの世帯の増加に伴い、父島・母島の放課後における児童の安全な居場所確保の必要性和現状の危険リスクの回避等、課題認識の今後の方向性はどのように考えているのか？

答 学童保育の重要性は認識しており、支援者の確保なども視野に入れながら、父島・母島の状況にあわせた支援の充実を図っていく。

問 離島という地理的制約から、島外の医療機関を受診する住民の経済的・精神的負担は大きくなっている。

特に通院に伴う島外での宿泊費の高騰について、村としてどのように支援をしていく考えか？

答 島外医療受診に伴い、高齢者は海上運賃の割引制度があるが、本土での通院に伴う宿泊費などの負担増については、重要な課題であると認識している。

東京都全体の医療体制や島しょ地域の受入れ環境ともかかわっているので本村だけで解決できる課題に限度がある。東京都町村会が毎年取りまとめる東京都予算要望で宿泊施設の確保や受入れ環境の充実について、引続き要望をしていく。

地球温暖化対策実行計画の進捗とエネルギーの 自給について(村長のやる気を問う)

村長…省エネルギーの推進など化石燃料への依存を低減し、災害にも強い持続可能な島の実現を目指す。

二酸化炭素も核のゴミも
これ以上出さない
エネルギー政策を！



清水 良一

問 当村は「スイッチおがさわらライフゼロカーボン大作戦」を遂行し化石燃料や原発に頼らず、温暖化対策を目指していると認識している。①村全体と主要施設の電気使用量の推移は？②母島太陽光発電半年間の実績は？③省エネ行動と省エネ技術の取り入れ方は？

④電気需要の上がる夏に向けての省エネ作戦は？⑤太陽光発電の導入が遅い要因と対策は？⑥父島の小中学校太陽光発電の計画は？⑦扇浦交流センター10kWの有効利用は？

答 ①村全体の電気使用量は概ね1,500万kWhで推移。小笠原小中学校、母島小中学校、扇浦浄水

場以外は減少傾向。②本年4月までの8ヶ月間の再エネ率は49.1%、4月は79%になった。③現在電力使用量測定器を活用した省エネ行動の促進。省エネ家電製品普及促進事業補助金制度を創設し、買い替えを推進。④7月号の村民だよりゼロカーボン大作戦特集号で省エネに関する特集を予定。クールシェアの考えも紹介。⑤設計、設置、メンテナンスを担う島内業者が不十分。輸送費等のコストの高さ。本村の実情に即した導入促進策を検討⑥30kWの太陽光発電設備を設置、蓄電池は考えていない。⑦パワーコンディショナーの故障が判明。早急に対応方針を検討。

シニアカー、車いす利用時の危険個所の対応は



建設水道課…状況を確認しており、
副参事 改善を検討していく。

障害者も安心して
暮らせる村を！



片股 敬昌

問 シニアカー、車いすを利用して危険個所がある
が把握しているか。

答 大神山公園歩道から車道へ出る村道東町6号線では段差があることを確認しており、改善が必要と考えている。2か所目は、村道大神宮線でも横断歩道の勾配が大きいことを確認したので改善を検討していく。

問 障害のある方々、シニアカーの利用者などが感じておられる危険個所については、関係団体からの情報提供も重要。父島クラブとも連携しながら利用者の声を把握しては。

答 実際に利用される方でなければ気づきにくい視点もあると認識している。父島クラブなど関係団体からの情

報は大変参考になる。また、道路や公共施設の日常的な点検や巡視の中で、より気配りしながら状況の把握に努めていく。

問 商店、飲食店など民間のバリアフリー化も必要ではないか。補助制度は。

答 整備の実施は各事業者の判断によるものだが、国や都の支援制度や他自治体の取り組みなどを情報収集し提供していく。

問 村営バスでの車いす利用者への対応は。

答 大型車はノンステップバスであり、乗降時は運転手がスロープ板を設置し安全に乗降りできるようサポートしている。

おがさわら丸運賃安定のための対応状況は

村長…東京都独自の支援制度創設の要望を調整中。

その他の
質問

- ▶観光地における通信環境の整備
- ▶人口減少社会における子育て支援

安心して子育て
できる島づくりを



平野 悠介

問 ホルムズ海峡有事による原油高で、上昇幅は村民生活を直撃している。公共交通として激変は避けるべきと考えるが、村の考えは。

答 運賃の安定化は村の責務であるが、公共性という点では国や東京都と村で考えていく。高騰が長期に渡る場合は対策を取る必要があると認識。

問 過去最大の燃油サーチャージとなるが、村民生活、観光への影響は。

答 村民生活への影響を勘案し、国や東京都、運航会社と調整する。予約状況は例年通りとの情報。

問 公共インフラとして運賃体系には透明性が求められる。サーチャージの算定プロセスの公開を求めている。

答 算定方法などの公開について、運行会社と調整していきたい。

問 村民への負担軽減策は検討しているか。

答 燃油高騰に伴う物価高対策として、みんなのクーポン券を1人につき3万円を給付。

問 価格の激変緩和を行い、公共インフラとして安定した運賃を維持すべき。公的な支援体制は必要。海運、国、東京都と協議が必要では。今回を機に村民への影響を軽減する体制を整える事を望む。

答 急激な変動に備えた東京都独自の支援制度創設の要望を調整している。国や東京都に対して支援の要望を行っていく。

文献調査、村の回答決定のプロセスを問う！



村長…国の責任で決めるべき。
時間を置かずに回答すべきと考えた。

他の質問

- ▶ドック中の作物出荷体制の課題について
- ▶母島人口減少、進学、学童について

子供達が生きる
未来。
しっかり考え、
笑顔の未来を！



宮城 ジャイアン

問 回答日程は誰の判断だったのか？急ぐ必要性は？

答 私が判断した。文献調査の実施判断は国の責任で決めるべきと考え、時間を置かず回答をした。

問 回答は議会や公式の意見集約を経た村全体の意思決定ではなく、村長自身の政策判断だったのか？

答 国からの申込を受け、様々な意見を総括し回答。

問 村として国に回答するまでに公式な意見集約をしていない認識でよいのか？

答 公式の説明会等で意見を聞いた。非公式で議員にも個別に意見を聞いた。文献調査の中で議論を深めていきたい。

問 回答期限がない中、結論を待つて欲しいという声がある中、6月議会後での回答では支障があったのか？

答 明確な理由はないが、様々な要素を含めて判断した。

問 政策判断に議会の関与は必要なかったのか？

答 議会との議論は文献調査をやりと決まってからだと判断。これからがスタート。

問 入口に入る前の意思形成こそ慎重であるべきだった。振り返ってみてはどうか？

答 意見は受け止めるが、私は私の判断をした。他に国が文献調査の申し入れをするようになれば良い。

問 今後、村主体で公平で透明性がある対話の場を設けるか？

答 対話の場の主体はNUMO。村も協力していく。どんなあり方がいいのか話し合っていく。

外来種に対する村の対策は？新たな外来種は？



環境課長…農薬による防除が有効。
農薬は無償配布。
今後も情報収集し、
取り組んでいく。

ヒキガエルに
苗をやられて
困ってます！



稲垣 勇

問 オクラ、ニガウリなどの苗を畑に定植する農家も多い。外来種であるウスカワマイマイによる食害がひどい。有効な対策を伺う。

答 対策としては粒剤、散布剤などの登録農薬による防除が効果的である。都は農薬の無償配布を実施している。ウスカワマイマイは、苗床や圃場への侵入を防ぐことが重要。圃場内の落葉や雑草の管理を徹底、湿らせた段ボールやトラップを設置し、定期的に捕殺する方法も効果的。

問 外来種オオヒキガエルによる昆虫への影響はどのように考えているのか？

答 オオヒキガエルについては、オオムカデやゴキブリの駆除を目的に持ち込まれた。特定外来種に指定され、希少昆虫類の減少要因としてグリーンアノールと合わせ、環境省などの知見を踏まえ、引き続き、生態系への影響に関する情報収集に努めていく。

問 新たな外来種の侵入、拡散について伺う。

答 世界自然遺産の価値を守る上で核心的課題であり、関係機関共通の認識。外来種による影響は、農家や生活に及ぶ可能性があるため、持ち込まない、持ち込ませない対策を今後も重要課題として取り組んでいく。

総務委員会

トピックを掲載しています。
詳細は公式 youtube で確認
いただけます。

開催日：6月25日



世界自然遺産15周年

2011 年の世界自然遺産登録から 15 周年を迎えた企画の報告がありました。今後、地形・地質での再評価に向けての講演会や視察会が行われます。また、小笠原諸島の生き物をまとめた「オガニマル図鑑」が子供たちに配布されます。

さくら寮拡充へ、東京都予算要望

東京都への予算要望として、小笠原村から以下の 3 件を新規に追加して調整しています。

- ・おがさわら丸の燃油価格変動調整金への支援
- ・都立広尾病院さくら寮の宿泊延長などの拡充
- ・都営小笠原住宅への EV 車用充電設備設置

東京都予算要望とは？

東京都町村会、東京都町村議会議長会の連名で東京都に「東京都予算編成に対する要望」として提出しています。要望内容は東京都町村会の Web サイトから確認することができます。

母島新都住シルバーピア 要望取下げ

東京都との調整の結果、導入時には一般入居戸数が減ってしまうため、望ましくないと判断。シルバーピア制度によることなく、高齢者に配慮した措置を東京都と検討・調整していく事となりました。

水道料金の改訂へ

「小笠原村上下水道ビジョン・経営戦略」が示されました。現在の赤字での上下水道運用の改善のため、使用料の改訂が示されました。今後 10 年をかけて徐々に価格を改定する計画です。

南鳥島文献調査

令和8年3月3日に国から申し入れられた「高レベル放射性廃棄物の地層処分の文献調査」について、経緯の報告と電源立地地域対策交付金に関する報告がありました。

5月初旬にあった村長と村民グループとの対話の内容については、小笠原村ホームページ上で公開されています。

電源交付金についての質疑では、村長から「地層処分について日本の一人でも多くの方に知っていただきたいこと、国は1か所でも多く文献調査の申し入れを望み、国の制度に沿って調査に協力し交付金も受け取れば良いと考えている」との意見が表明されました。

請願審査

『文献調査段階では小笠原村が **不採択**
電源交付金を受け取らないことを求める請願』

総務委員会に付託され審議されました。審議の結果、反対 4、賛成 3 で不採択となりました。意見として、「交付金を貰って地域振興に役立てるべきという声が反映されない。また、継続調査で長引くほど分断と対立を危惧するため不採択」「多くの島民の署名がある中、受け取りたいと言う意見の集約がないので継続」「次の候補地を出さなくし現行制度を破綻させることが狙いという説明に賛成できない」が出されました。

航空路開設推進 特別委員会

開催日：6月25日



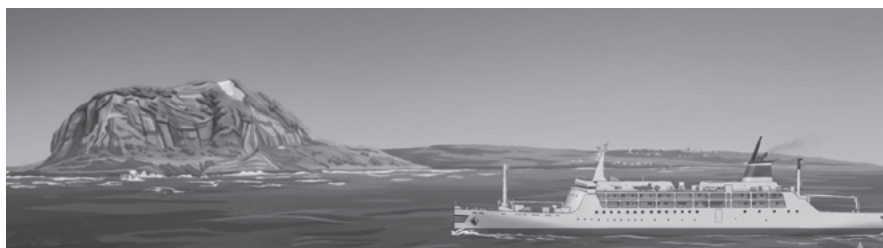
目指せ！飛行艇US-2による航空路

小笠原村は今後、飛行艇 US-2 による輸送支援の要望を国に行っていきます。自民党『小笠原を応援する会』で渋谷村長より報告が行われました。まずは、急患搬送の飛行艇 US-2 活用の再開を求め、最終的には飛行艇 US-2 の訓練来島時に余席を用いて、村民が本土との往来を可能とすることを目指していきます。

複数の委員からも要望を支持する声明が出されました。

硫黄島調査 特別委員会

開催日：6月25日



大型船舶の接岸が可能に？

防衛省による港湾施設の技術検討を行う事が報告されました。港湾施設の設置場所は現時点では明らかではありませんが、硫黄島の隆起にあわせた大型船の接岸と荷役を行う施設の整備が検討されるとの事です。

太平洋側の防衛体制の強化が念頭にあり、緊張感が高まっています。

杉田委員長 硫黄島視察

硫黄島で行われている掃海艇訓練の状況確認の為、6月16日に現地を視察しました。釜岩にある訓練検分場では水中爆破訓練を視察。大きな水柱を見て威力を実感しました。

昨年の噴火の影響は大変大きいものであり、資機材搬入に使用していた LCAC の陸揚場や管理棟も埋もれ、道路も使用不能な状態でした。硫黄島の火山活動は活発であり、先が見通せない感じを受けました。

また、平和記念墓地公園・天山慰霊碑・鎮魂の丘を訪れ、献花・焼香等の追悼を行いました。現在の硫黄島を見ることが出来、改めて旧島民のために尽力することを強く認識しました。

議会運営委員会

議員報酬の改正に向けて動いています

小笠原村議会では、令和6年1月から議員の成り手不足の解消を目的に取り組みを進めてきました。『村民と議員の懇談会』を経て報酬額の低さが要因のひとつであるとの考え、適切な報酬額について調査を進め「議員報酬改正に関する調査検討結果報告書」をまとめました。この報告書を元に特別職報酬等審議会の開催を村に要請し、令和9年4月の改正を目指しています。

小笠原小学校6年生社会科見学

清水 良一



6月2日小学校6年生が社会科の授業で村議会議事堂に来てくれました。

議会の雰囲気味わってもらうために生徒の一人が議長席に座り議長役を務め、通常の議会とは逆のパターンで生徒の質問や要望を議員が手を挙げて答えました。生徒からは議会や議員の役割についての質問、又全員で考えてきた「お弁当に補助金がないのか」「青灯台にライフセーバーを配置できないか」という授業でまとめた要望もありました。議員も答える側の経験をすることで執行部の気持ちもわかり、今後の議会で、より深い議論の場が期待できそうです。子供達が少しでも地方議会や地方議員に興味を持ち未来の小笠原村を背負って立つ人に育ってくれたら最高です。



村民と議員の懇談会 パート3!!

宮城 ジャイアン

去年の秋から始まった、村民と議員の懇談会も3回目を迎えました。今回は父島、母島で昼の部、夜の部とそれぞれ2回ずつ開催しました。父島では昼夜合わせて16名の参加、母島では10名の参加となりました。

4テーブルに分かれて、「住み続けられる島、ふるさと小笠原」をテーマにワールドカフェ方式で話し合いました。住宅問題、防災、南鳥島、介護、化石燃料不足、コミュニティ、便利になる前の島暮らしと幸せについて、お産事情、人口減少、など盛り沢山の意見がでました。

8人の議員がそれぞれ父島、母島に出向き、住民の皆さんと対話をする意義はとてもあると感じます。参加した皆さんにとっても、こんな考えで過ごしているんだ!という発見にも繋がりますし、共通の課題に気付いたりもします。議員がどのような活動をしているのかを知ってもらう機会にもなっています。

去年から始まった取り組みですが、今後も回を重ねて、色々な方法を取り組みながら進めて行ければと思います。ぜひ多くの皆様の参加をお待ちしております!感想もお聞かせください。



出張報告

本所防災館での防災体験の研修報告

安藤重行

5月14日東京消防庁本所防災館で体験研修に参加しました。研修では関東大震災を再現した激しい揺れを体感する地震体験を始め、煙が充満する空間での避難訓練、大雨による浸水時の建物や車の水没時のドアの開放の困難さを体験する等、リアルな災害と脅威の初期対応の受容性を肌で学びました。

小笠原は離島という地理的特性上、災害発生時の迅速な初期行動や日頃から自主防災力の向上が極めて重要です。今回体験で得た深刻な教訓と知見を基に、議員として地域の防災・減災体制の更なる強化や、住民の皆様の防災意識を高めるための啓蒙活動に全力で取り組んでいきます。

この防災体験は、必ず役に立ちます。小学1年生から体験できますので本土に行かれる際に、ぜひ、行ってみて下さい。

安心・安全な島づくりを共に進めていきましょう。



下田黒船祭へ

片股 敬昌



5月16日～17日下田黒船祭に議員4名で参加しました。町全体に日米の国旗があふれ、友好ムードいっぱいの中で式典が催されました。米国にとって今年は特別な年でアメリカ独立(1776年)から250周年を迎えます。ジョージ・グラス駐日大使やロードアイランド州のチャールズ・ホルダー、ニューポート市長らが出席されました。黒船来航ペリーの出身地はニューポートという港町です。

グラス米国大使は「現在、日米関係の新たな黄金時代において、両国はかつてないほど強国で緊密なパートナーシップを築いています。トランプ大統領と高市首相のリーダーシップの下、日米同盟は、自由を導く灯台、平和の礎、そして世界にインスピレーションを与える存在なのです」と述べられました。

かつて戦争した両国が、今はゆるぎない信頼関係で結ばれ、定着していることに、ただただ感謝でした。

一般質問を磨き上げる研修2!!

宮城 ジャイアン



5月18日今年2月に法政大学の土山希実枝教授をお招きして、一般質問の質問力向上を学んだ村議会議員一同。今回は土山教授研修第2弾として、前回の反省を活かしつつ、次の議会での質問力を上げるために学んできました。

3月議会ではどう取り組んだのか、実際はどうだったのか、そして次回に向けて、周りからの評価などを出し合いました。6月議会ではこの研修で学んだことを活かし、一般質問の事前討議も行いました。論点を絞れたり、テーマが明確にできたり、随分と皆さんの意識も変わってきた印象です。

6月議会ではその成果が発揮できたのではないのでしょうか？ぜひこの議会日より、議会アーカイブ、議事録などから議員の質問力アップを感じてもらえればと思います。



硫黄島洋上慰霊祭報告

安藤 重行

硫黄島洋上慰霊祭は6月14日に村長の式辞・参列者全員による黙禱・硫黄島旧島民代表と硫黄島協会代表の方の追悼の辞、中学2年生の「誓いの言葉」と、自分達で折った千羽鶴を硫黄島の平和記念墓地公園に奉納することになりました。議員と一般の方等関係者総勢66名参列され、日差しが強い中、熱中症予防対策を万全に、厳かに執り行われました。穏やかな式典はまるで英霊の方々が海を風させてくれたのではと感じました。最後に「故郷の廃家」を歌い、無事式典が終わりました。

中学2年生は、小笠原村の平和学習の一環として硫黄島の戦没者やここに住んでいた方がいたことも記憶に止め、しっかりと取り組んでいます。

旧島民の方が「硫黄島からの手紙」の映画と実際に島根の方で従軍され亡くなられた方の手紙等を通して、ご遺族の想いや、亡くなられた方の想いなどを読み解いて、戦争のない世界がどうすればできるのか考えて欲しいと2年生や聴講されている方々に問われていました。また、お迎え出来ていない半数（1万人）以上のご遺骨を1日でも早く、最後の1柱まで見つけ出すことを願っています。合掌！



青森県六ヶ所村&むつ市の核施設を訪ねて

宮城 ジャイアン

5月11日～12日に小笠原村議会議員全員で、青森県の六ヶ所村の再処理工場、むつ市の核サイクル燃料備蓄センターに視察に行ってきました。

六ヶ所村の再処理工場は、使用済み核燃料を再処理し、ウランとプルトニウムを取り出し、MOX燃料を作成、廃液をガラス固化体とする施設ですが、着工から30年経った現在も完成していません。

また、敷地内にはガラス固化体を50年貯蔵する施設もあり、そこでは海外で再処理したガラス固化体を写真の蓋の下に保管しています。これが最終処分として地層処分されるものです。

むつ市では六ヶ所村で再処理する前段階の使用済み核燃料を50年間保管する施設を視察しました。キャスクという入れ物は高さ5mあり、空冷保管です。中身は100～200℃ですが、触ると人肌の温かさでした。

どちらも剥き出しであれば、人は数秒から数分で死に至る高線量だそうです。どちらもとても厳重な保管体制で、それがとてもリアルでした。

私たちの暮らしが生み出す廃棄物。電気を使うすべての人が向き合い、考えていくべき問題です。



議長出張報告



出張日	出張用務
4/7	小笠原小学校、小笠原中学校、都立小笠原高等学校入学式出席
4/20	「小笠原を応援する会」出席
5/7	東京都町村議会議長会定期総会・議員講演会
5/11-12	青森県六ヶ所村（日本原燃(株)原子力燃料サイクル施設）～むつ市（リサイクル燃料貯蔵施設）視察
5/14	東京都本所防災館視察
5/15-16	下田黒船祭レセプション・式典出席
5/18	議員研修開催（第2回一般質問の質問力を高める）
5/30-31	「村民と議員の懇談会（父島）」開催
6/4-5	「村民と議員の懇談会（母島）」開催

南鳥島における地層処分文献調査受け入れに伴い、NUMO（原子力発電環境整備機構）による全面的支援を受け、全議員で青森県六ヶ所村「原子力燃料サイクル施設」むつ市「リサイクル燃料貯蔵施設」へ視察。原子力燃料サイクル施設において再処理工場が完成し、核燃料サイクル計画が完成すれば、資源に乏しい日本のエネルギー確保に大いに役立つこと。また、今後の日本のエネルギー確保に重要な役割を担っていることを実感いたしました。

議長 池田 望

令和4年7月から4年間監査委員を務めていただきました、諫山明子税理士が令和8年6月30日をもって任期を終えました。

監査委員として例月出納検査、決算監査、定期監査における適切な監査指導、また、導入間もない公営企業会計処理へのアドバイス、職員向け企業会計セミナーの開催等していただき大変お世話になりました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



小笠原村議会 主な予定

●主な出張予定(10/20~11/1)

- ・大磯町議会視察
- ・岩手県平泉町合併70周年・
世界遺産登録15周年記念式典
- ・平泉町議会視察
- ・日本原子力研究開発機構
幌延深地層センター視察 他

●令和8年第3回定例会(予定)

9/17 10時 本会議(一般質問等)

9/18 9時 総務委員会

11時 硫黄島調査特別委員会

14時 小笠原航空路
開設推進特別委員会

15時 本会議(議案審議)

9/30 9時 決算特別委員会

10/1 9時 決算特別委員会

15時 本会議(議案審議)

議会中継&アーカイブ視聴

Youtube 小笠原公式チャンネルにて

議会中のリアルタイム中継、

いつでも好きな時にアーカイブ映像

を観ることができます。

<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>

※小笠原ケーブル TV 放送終了に伴い、
TV での議会中継は終了しました。



会議録が見られる!

会議での詳しい内容、
発言をご覧になりたい方は
会議録をご覧ください。

☆父島

- ・村役場議会事務局
- ・福祉センター図書室

☆母島

- ・村役場母島支所
- ・村民会館図書室

☆PC、スマホ

小笠原村公式サイト→
議会事務局→会議録

※検索で色々調べられます!



編集後記

12年間の議員生活の中で初めての請願書が提出、受理され最も多い傍聴人が来た。それが6月の定例会2日目の総務委員会だった。ほとんどの場合、傍聴席は無人の事が多いのだが、さすがに多くの傍聴人がいると議会の中に緊張感が生まれる。こんな雰囲気に入れ審議が始まった。請願の内容は「文献調査段階では小笠原村が電源交付金を受け取らないことを求める」ものであった。

島民による直筆請願署名者は264名、全国のオンラインで行った署名者は6月24日時点で7000名を超えていた。

結果は3対4で不採択となった。

今後も南鳥島の文献調査については、総務委員会で議論される。今回の文献調査の問題は国レベルの案件であるが地方議会の重要性が再認識され多くのメディアも取材に来ていた。いずれにしても高レベル放射性廃棄物処分の問題は次世代に禍根を残す事なく、より安全な場所と方法を模索していただきたい。それには村長の要望にもあったようにより多くの有望な場所を指名、その中で最も安全な場所を選定する事が今の時点で最良の方法なのだろう。村長の5つの条件が確かなものになるまで、電源交付金の使用を控えてもいいのではないかと。 清水良一

写真：南硫黄島

島全域が原生自然環境保全
地域、天然記念物に指定されて
います。

● 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp